

## 一般情報

ファイル名 : P2P BOX2.iolm  
 試験日 : 3/1/2024  
 試験時間 : 6:39:45 PM  
 作業ID :  
 コメント :

顧客名 :  
 会社名 :

## ロケーション

	ロケーションA	ロケーションB
オペレーター		
モデル	MAX-730D-SM8-OPM2-EA	
シリアル番号	1750549	
校正日	9/5/2023 (UTC)	

## 識別子

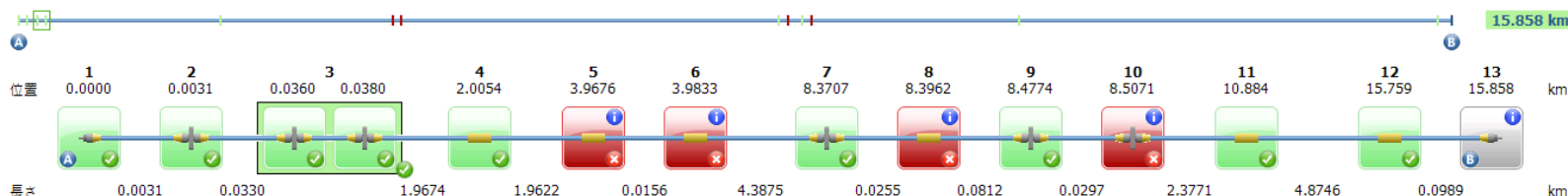
Cable ID	Fiber ID
	P2P BOX2

## iOLM 測定結果

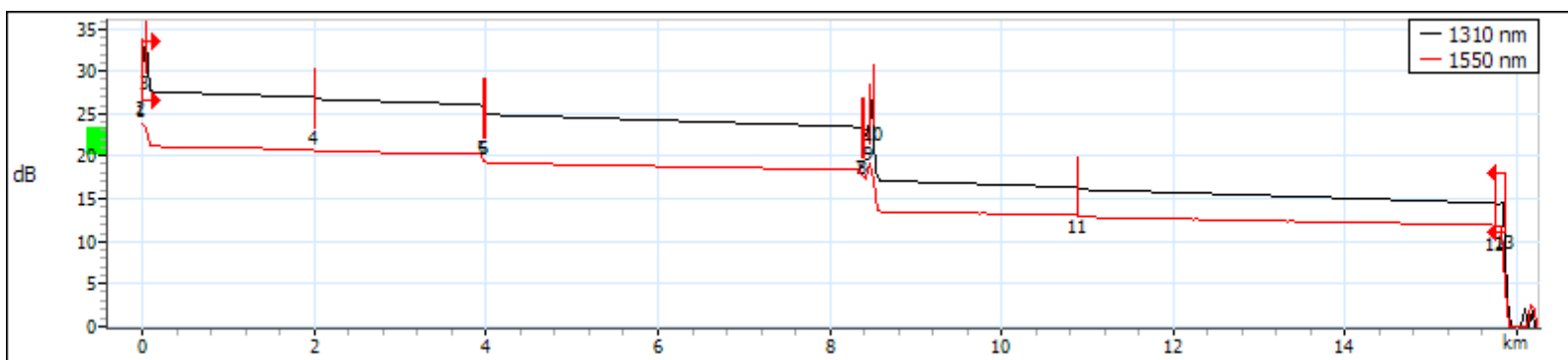
リンク長 : 15.858 km  
 測定ステータス : 完了

波長 (nm)	リンク損失 (dB)	リンクORL (dB)
1310	15.388	36.63
1550	11.199	37.22

## リンクビュー



## OTDR グラフ パルス: 275 ns



エレメント表

タイプ	番号	位置/長さ (km)	損失 (dB)		反射率 (dB)		減衰 (dB/km)		累積損失 (dB)		
			1310 nm	1550 nm	1310 nm	1550 nm	1310 nm	1550 nm	1310 nm	1550 nm	
コネクタ	A	1	0.0000	0.563	0.277	-80.9	---			0.563	0.277
セクション			0.0031	---	---			---	---	0.563	0.277
コネクタ		2	0.0031	0.112	0.306	-57.5	-59.8			0.675	0.583
セクション			0.0330	---	---			---	---	0.675	0.583
グループ		3	0.0360	1.408	1.134	-42.3	-43.0			2.083	1.717
+ コネクタ			0.0360	---	---	-52.2	-53.8			---	---
+ コネクタ			0.0380	---	---	-42.3	-43.0			---	---
セクション			1.9674	0.660	0.388			0.335	0.197	2.743	2.106
スプライス		4	2.0054	0.234	0.195	---	---			2.977	2.300
セクション			1.9622	0.667	0.379			0.340	0.193	3.644	2.679
スプライス		5	3.9676	0.605	0.487	---	---			4.249	3.166
• ファイバが適切にスプライスされていることを確かめてください。損失は低反射率 (APC) コネクタが原因になっている可能性があります。必要に応じてエレメントタイプを変更してください。											
セクション			0.0156	---	---			---	---	4.249	3.166
スプライス		6	3.9833	0.553	0.511	---	---			4.802	3.677
• ファイバが適切にスプライスされていることを確かめてください。損失は低反射率 (APC) コネクタが原因になっている可能性があります。必要に応じてエレメントタイプを変更してください。											
セクション			4.3875	1.469	0.841			0.335	0.192	6.271	4.518
コネクタ		7	8.3707	0.312	0.239	-65.8	-66.6			6.583	4.757
セクション			0.0255	---	---			---	---	6.583	4.757
スプライス		8	8.3962	0.876	0.791	---	---			7.459	5.548
• ファイバが適切にスプライスされていることを確かめてください。損失は低反射率 (APC) コネクタが原因になっている可能性があります。必要に応じてエレメントタイプを変更してください。											
セクション			0.0812	0.027	0.008			---	---	7.485	5.557
コネクタ		9	8.4774	0.243	0.160	-45.8	-47.2			7.728	5.717
セクション			0.0297	---	---			---	---	7.728	5.717
コネクタ		10	8.5071	4.754	3.650	-46.7	-45.2			12.482	9.367
• コネクタやバルクヘッドが汚れ、損傷しているか、きちんと接続されていません。必要に応じて点検し、清掃してください。											
セクション			2.3771	0.787	0.461			0.330	0.194	13.269	9.828
スプライス		11	10.884	0.255	0.212	---	---			13.523	10.040
セクション			4.8746	1.619	0.942			0.333	0.193	15.142	10.982
スプライス		12	15.759	0.224	0.212	---	---			15.366	11.194
セクション			0.0989	---	---			---	---	15.366	11.194
コネクタ	B	13	15.858	---	---	-57.4	-63.3			---	---
• エンドツーエンドのリンク損失最終エレメントを含むORLを測定するには、レシーブファイバが必要です。											

iOLM 合否しきい値

	波長 (nm)	ファイバセクション減衰 (dB/km)	リンク損失 (dB)		最大ORL (dB)	リンク長 (km)	
			最小	最大		最小	最大
カスタムの合否判定しきい値	1310	---	0.000	20.000	15.00	0.0000	80.000
	1550	---	0.000	20.000			

## エレメントに関するカスタムの合否判定しきい値

	最大損失 (dB)		最大反射率 (dB)	
	1310 nm	1550 nm	1310 nm	1550 nm
スプライス	0.300	0.300	---	---
コネクタ	0.750	0.750	-40.0	-40.0
最初のコネクタ	---	---	---	---

## iOLMパラメータおよび設定

テスト構成 :	Point to Point	屈折率 (1550 nm):	1.468325
ファイバのコアサイズ :	9 $\mu$ m	後方散乱 (1550 nm):	-81.87 dB
ランチファイバ :	0.0000 km		
レシーブファイバ :	0.0000 km		